

## 提案

日付：2022/6/24

件名：田端地区のアンケートからの提案

### 1.問題、課題

田端地区のゴミ収集試験運用の報告書を拝見しました。担当の職員の方々、たいへんだったと思いますが、とても参考になりました。特に、収集業者の方々の報告を載せていただいたことがよかったです。(いつもお世話になります。)

読ませていただいて、不満はほぼ次の3点に集約できるような気がします。

ア、一か月のみの施行のため、収集日、収集方法の変更などで慣れていないことに振り回された。

イ、古紙が別の日、3種に分けられ面倒

ウ、袋の問題。 使う量が増える、経費負担が増える、特に破袋にまつわる問題。電池なども大きい袋に入れるのか？

### 2.改善案：

やはり、慣れていることを変えるのは相当なエネルギーがいらいます。できるだけ現状を変えずに、衛生指導員、違反ごみ等の問題を少しでも解決するには、次のような方式はどうでしょうか？

#### <アとイの解決方法>

基本、資源物以外のゴミの収集方法は今まで通り。ただし、可燃粗大ごみは可燃ごみの日にも出せるようにする。

これは、収集業者の方からの報告(1)の?を見てなるほど、と思いました。可燃ごみの日にだせば、出す日がばらけることにより、一回に大量の可燃粗大ごみが出されることはないと思います。また、みなさん、今までのやり方に慣れていらっしゃるので、可燃粗大が指定袋ではないからと言って、可燃ごみまで指定以外の袋にすることはないと思います。

これで、小谷地区でいえば金曜日は収集のない曜日となり、火曜日との組み合わせにより資源物の収集にも充てられる。すべて別々の日に収集という方法もあるし、缶、ビンは同時にして月2回などもできる。(もちろん、他の地区との関係もあることはわかります)

#### <ウの解決方法>

資源物は戸別収集にする。

各世帯は缶や、ビン、金属は家庭用の折り畳みコンテナや小さ目の洗濯籠などに置いて門のところへ置いておく→袋を使わないので破袋の必要なし、一目で違反ごみはわかり、それだけを残しておけばいい。家で缶などを入れていた籠をそのまま出せばいい。

ペットボトルは風で飛ぶ危険性もあるので透明の袋に入れて出す。

#### <その他の改善>

指定袋は現状のもので、可燃ごみの指定袋のみ値上げする。→どのごみを減らした  
いかのメッセージとなる。いろいろな袋を開発、製造するコストがいらぬ。

可燃ごみの袋は現在20枚等入りなので、2か月で使うとすれば1世帯年間6袋。  
1000円値上げとすると、1000円×1万世帯×6=6000万円の増となります。  
これに下の効果の中でも触れますが、現在使用のコンテナ、青い袋の配布、回収、  
洗浄が必要なくなることにより、経費の削減ができる。(藤沢市では2億円以上  
の削減)

また、1000円の値上げは大きいように感じますが、ひと月にすれば500円ぐ  
らい。それで資源物当番や衛生指導員が必要なくなる。

### 3.改善後の効果：

#### <アとイの改善の効果>

- ・資源物以外の収集方法がほぼ変わらなければ、混乱は少ない。特に古紙類。

#### <ウの改善効果>

- ・複雑な金属類の分別、何が違反か等を各住民が学習することができる。残されるものは違ふとわかる。
- ・袋を無駄に使うことがすくなくなる。
- ・破袋してしまうと、違反ごみとして残しておけない、というジレンマがなくなる。

今までと変わるのは資源物戸別収集のための収集車、人員の増加ですが、現在回収  
回数は他のゴミより少ないし、現在使っているコンテナ等の設置、回収のための運搬  
コスト、人員配置、洗浄のコスト、人員配置が必要なくなり、(藤沢市の例でもこの  
コストが膨大)、さらに衛生指導員へのお礼の経費もなくなります。

収集車も特別仕上げの塵芥車ではなくても、普通のトラックでできる。

---

**回答**

<田端地区のアンケートからの提案>

【所管：環境課】

日頃より寒川町の環境行政にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年の2月に田端地区において、ごみ・資源物収集の試験運用を行い、その後、試験運用収集に伴うアンケートを実施しましたが、このアンケート結果からさまざまなご提案をいただきました。今後、ごみ収集方法を検討する上での参考とさせていただきます。

なお、減らしたいごみは可燃ごみだけではなく、不燃ごみ、可燃粗大ごみも減らす必要があるので、そのような目的からも今回のような試験運用を実施いたしました。

これまでのアンケート調査により、ごみの収集方法について、町民の皆様からいろいろなご意見やご提案をいただいております。町といたしましては、今後も町民の皆様さまざまなご意見やご意向を把握してまいります。このようなことを積み重ねて行きながら、町民のご負担、行政経費なども総合的に検討し、より良いごみ収集方法を実現したいと考えております。